

website: www.rikkyo.co.uk
e-mail: eikoku@rikkyo.w-sussex.sch.uk
Tel: 01403-822107
Fax: 01403 822079



RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND
Guildford Road,
Rudgwick,
West Sussex
RH12 3BE
U.K.

2018 年 10 月 22 日

保護者各位

立教英国学院
校長 佐藤忠博

オープンデイにて開催しました保護者会のご報告
並びに御礼とお願い

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力くださりありがとうございます。
表記の件につきまして、情報の共有と、その場でお答えさせていただきましたこととお伝えいたします。合わせまして、皆様にお伝えしたいことがございます。
※ 保護者会場で説明させていただいたり、答えさせていただいたりした内容に、付け加える必要のあることは加えております。

○ 校長より皆様へのご報告とご協力のお願い

本日は、遠いところ、オープンデイにお越しいただきまして、ありがとうございます。
今学期は児童生徒数 164 名で学習、生活をしております。

まず、2 学期は出だしの帰寮日、空港での迎えのコーチについて、到着が大幅に遅延してしまうことがあり、子供たちに辛い思いをさせていただきましたこと、お詫び申し上げます。本校が日頃から利用しているコーチ会社は地元 Guildford にあり、これまで長きにわたって本校の児童生徒の移動を依頼してきておりますので、今後の事故防止のための改善が行われれば最もよいと考えました。そこで、現状の改善を図るため、コーチの動きをモニターすることのできるシステムの導入を求めたところ、迅速な対応がありましたので、運用を始めているところです。しばらく様子を見たいと思います。並行して他のコーチ会社の手配についても検討しています。

今学期は何ととっても、本日のオープンデイの開催が最も大きな行事となります。今学期から迎えた新入生を含めて、大変意欲的に取り組んできました。まずは本日お運びくださいましたこと、そして準備等ご協力くださいましたこと、御礼申し上げます。準備が長期にわたりましたので、少々疲れ気味のお子さんもありますが、今日保護者の皆様、お客様に見てもらえることを楽しみに準備してきました。いかがでしたでしょうか。

2 学期の今後の予定

- ・ 10/21 オープンデイ 22 片付け・閉会式 23 授業参観
- ・ 11/21～ 期末試験
- ・ 11/29 クリスマスコンサート M3 補習始
- ・ 11/30 キャロリング
- ・ 12/1 2 学期終業礼拝・ランチョン 帰宅
- ・ 12/8～9 高等部入試
- ・ 12/9 M3 帰宅

新規採用教員の着任と 2 学期からの体制

9 月以降の授業についてのこれまでとこれからの対応を説明させていただきます。

高校世界史は、1 年生森、2 年生市川、3 年生は日本にいる着任予定の小坂と協力を取りながら市川が行っています。中学部 1 年生の社会は講師の渡辺一矢が行っています。社会科のその他の科目は、現任の教員が行っています。未着任の小坂の入国は今週末の予定ですので、オープンデイ終了後 1 週間はそのままの体制、次週より世界史を小坂が、中学部 1 年生を市川が担当する予定です。

その他の教科・学年につきましては、オープンデイ明けより、新規に着任した教員を含めた体制で指導を行ってまいります。どうぞご安心くださいますようお願い申し上げます。

○ ご質問のあったことにつきまして

・ 球技大会について

☆ 来年度は、日本のゴールデンウィークが 10 連休となりますが、球技大会の日程を少し遅らせて、日本のゴールデンウィークに合わせ、見学しやすくするという考えはありますか。

・・・同様の要望をおもちの方もいらっしゃることは承知しております。教育活動の内容については、見直しが必要と判断することもちろんありますが、球技大会は、前年度からの在校生と新入生が、年度の初めに互いに打ち解け合うよい機会となっていますので、タイミングとしまして、入学始業礼拝から 2 週間後の現状が望ましいと考えています。この準備期間をさらに長くしてしまいますと、張り切って練習しすぎてしまい、怪我が増えることも懸念されます。本校は、通常の学校と比べて、学期の開校日数が少なくなっています。そのため、行事の予定については、子供たちの生活リズムを優先して考え、決めさせていただいています。球技大会を従来よりも遅らせることで、その後のリズムに影響を与えてしまうことが考えられますので、ご要望にはお応えできない可能性が強いと考えています。合わせてお伝えしておく必要のあることは、英国は、キリスト教の暦で国が動いている、ということです。その中でも、クリスマスやイースターは、とても大きな祝日と考えられていますので、その年の 4 月のイースターの時期がいつであるのかによって、本校の 4 月のスタート日が早まったり、遅くなったりすることがありますことをお含み置きください。そのため、4 月のスタートが遅くなる年度については、入学始業礼拝後二週間後の週末が、日本のゴールデンウィークにかかる場合も考えられます。その場合は、ゴールデンウィークに合わせたのではなく、イースターの日に合わせた結果、その年度についてはそのようになった、とご理解くださいますよう、お願いいたします。

御礼とお願い

オープンデイには、たくさんの方々にお運びいただき、感謝しております。ありがとうございます。

今回学校へお越しになった方々から、学校、あるいは担任・副担任にと、お心遣いの品や差し入れの品々をたくさんお預かりすることとなりました。お心配りをいただきましたこと、感謝申し上げます。

しかしながら、遠い本校まで、お子様のご様子を見にお越しになるのに、そのように手間をかけておもちいただくことは大変心苦しいですし、何より、私たちは、保護者の皆様と協力して子供たちの成長を手助けする立場として、普段から、皆様からのお気持ちはいただいていると思っております。どうぞ今後、お気遣いはなさいませんよう、お願いいたします。

また、場合によっては学年や学級の子供たちにと、お菓子などをおもちくださる方々もいらっしゃいました。ご承知のように、本校は海外にある、ということもあって、児童生徒たちは基本的に食べ物や飲み物などは学校へ持ち込むことができません。そのような中、教職員のみが皆様からいただいたものを子供たちの前でいただくことは、少々心苦しく思っております。特定のクラスの子供たちにだけ、といただいたものに関しても、同様に感じております。特に飲食物に関しましては、アレルギーの対応等、細かな配慮が必要な場合があります、せつかくいただいたものを、全員に届けられない場合もあり得ます。

さらに、遠く離れていらっしゃる保護者の皆様が、例えば、学校を訪れる他の保護者の方に何かを託されるケースもあるとお見受けしています。恐らくは、他の方々になさるなら、とお感じになる方もいらっしゃると思いますが、そのようなかたちで皆様にご負担をおかけすることは学校としては本意ではありません。

もちろん、純粋にお気持ちをいただくことは嬉しく思います。どうぞそれを、別の形で、お子様自身にお返しいただければ幸いと、職員一同思っております。

せつかくのお気持ちをいただきながら、大変恐縮ではありますが、どうぞ後は、お心遣いは無用に、お願い申し上げる次第です。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。